

OUJ神奈川学習センター ふゆだより

通巻第81号

2020年1月11日発行

発行：放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

URL: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel: 045-710-1910 fax: 045-710-1914



野毛山公園展望台から（8ページに関連記事）

目次

面接授業「醗酵の科学」と「疲労の科学」を担当しています。 客員教授 小泉 淳一	2～3
2020年度第1学期単位認定試験の期間が前倒しとなります	4
「異文化との出会いー日本と東アジアー」のご案内	5
2019年度学生研修旅行	6～7
地域連携ウォーキング「弘明寺から河口へ歩こう!!」	8～9
2019年10月学生生活に関するアンケート	10～11
2019年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧	12～13
Kーサポートからのお知らせ	13
学生サークルからのお知らせ／同窓会だより	14～15
神奈川学習センターからのお知らせ	16

神奈川〈みなとみらい〉



面接授業「醗酵の科学」と「疲労の科学」を担当しています。

客員教授 小泉 淳一



居酒屋巡り

本稿執筆時の香港であったなら、すぐにも逮捕拘束されそうなマスク姿ですが、写真を撮ってくださった方も含め、皆、神奈川学習センターの客員教授の先生方です。面接授業でビジネスゲームを開講されてらっしゃる客員教授白井宏明さんの音頭で集まった居酒屋で、開店待ち行列の先頭でのワンショットです。こうした居酒屋巡りを、その都度、人数は変わりますが、集まっては、おいしいお酒とおいしい肴と楽しい話しを楽しんでおります。

お酒好きな方のために、ああこれは飲んだ、これはどんな酒か、など楽しんでいただければと思います、あやしい記憶を辿りながら、楽しんだ銘柄をあげてみましょう。新政エクリュ(秋田)と仙禽(栃木)が第1回目の2軒目でしたが、そのあとは順不同で、国稀(北海道)、伯楽星(宮城)、阿部勘(宮城)、綿屋川口納豆(宮城)、乾坤一(宮城)、上喜元(山形)、恵信(新潟)、緑川(新潟)、鶴齢(新潟)、八海山(新潟)、大七(福島)、富久福(茨城)、鳳凰美田(栃木)、惣誉(栃木)、七賢(山梨)、水尾(長野)、真澄(長野)、苗加屋(のうかや、富山)、五凜(石川)、醴泉(岐阜)、義侠(愛知)、喜楽長(滋賀)、澤屋ま

つもと(京都)、玉川Ice Breaker(京都)、乾風(あなげ、京都)、惣花(兵庫)、播州一献(兵庫)、竹鶴(広島)、賀茂鶴(広島)、雨後の月(広島)、亀齢(広島)、青冴え(鳥取)、鷹勇(鳥取)、王碌(島根)、川鶴(香川)、酔鯨(高知)、司牡丹(高知)、繁栢(福岡)、田中六五(福岡)、庭のうぐいす(福岡)、鍋島(佐賀)、豊潤(大分)などなど。私からのお薦めはというと、白



鶴天空(兵庫)、神心(岡山)かと思います。皆さんからの、これをたしなんでおかないかという情報を是非にお寄せください。それを探しに、また繰り出

すことにいたしますので。

清酒醸造との出会い

東京大学応用微生物研究所(現:定量生命科学研究所)で光合成細菌の研究で大学院課程を終え、大阪大学工学部醗酵工学科(現:応用自然科学科応用生物学コース)が、大学教員としてのスタートでした。この醗酵工学科在職時には、好熱性細菌の遺伝子工学に携わっており、また醗酵工学科全体でも醗酵自体は、あまり正面切っては扱っておりませんでした。

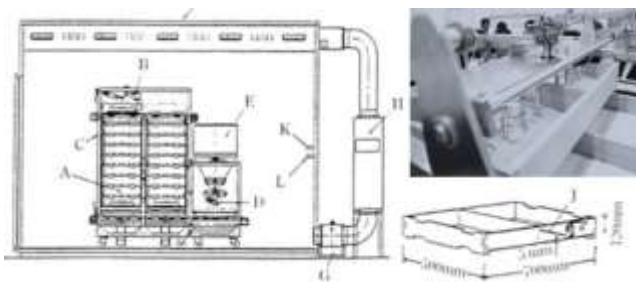
その後、島根大学農学部農芸化学科に移ってから、しばらくは硫酸還元菌、鉄酸化細菌、有鞘細菌などの環境微生物動態などを研究しておりました。

そんなときに、広島大学の永井史郎先生の紹

介で、広島県食品工業技術センターの土屋義信さんから酒造のファジー制御などを駆使した知識工学的制御研究のお誘いがあり、そこに島根県工業技術センター(現:産業技術センター)の堀江修二さんも加わり、土屋さんとは、清酒醸造工程の醪(アルコール醗酵の舞台)の工程を、堀江さんとは麴(清酒醸造で、米を分解する酵素原料)の工程の知識工学的自動化を目指しました。これが、私の清酒醸造との出会いです。

大阪の醗酵工学科に在職はしていたものの、時代が時代でしたので、酒造りは、まったくの初めてでした。堀江さんや土屋さんの力をいただき、安来の金鳳酒造さんには、何日も何日も、泊まり込みで経験させていただきました。他にも、豊の秋、李白、天祐、王碌、出雲誉、隠岐誉の各蔵で勉強させていただきました。李白の当時の吉岡杜氏さんとは、中国の紹興まで一緒にいました。

そうした成果の一つは、そのコンセプトはすでに多くの酒造場で導入されていますが、最初は広島県の中国醸造に導入された醪温度管理戦略決定システムで、実際に清酒を上槽するまでに至りました。また、もう一つは、上述の豊の秋さんが第1号機を導入してくださったのですが、島根県と三菱農機とともに開発した写真のような製麴(麴造り)ロボットでした。



生体計測そして疲労計測との出会い

清酒醸造の仕事も一つのステージを終えたこ

ろ、東京大学の分子細胞生物学研究所(現:定量生命科学研究所)に移りました。そして、酒造工程の制御戦略決定システムを応用できるターゲットはないかと探りました。ここまでの微生物研究では、常に微生物のガス代謝は追跡しておりましたので、それは当然のバックボーンとしてありましたところに、口内の歯周病原因細菌発生ガスから歯周病を診断する仕組み作りの話が舞い込みました。これに関しては日本歯科大学の鴨井久二先生らのお力を得て、何とか形にするところまではいけましたが、センサーデバイスの限界を感じていたころ、疲労に関する生体計測を一緒にやらないかと、特に生体情報の生物統計学的処理を担当してもらえないかという提案を、大阪市立大学附属病院疲労クリニカルセンターの倉恒弘彦先生からいただきました。

疲労クリニカルセンターと神戸の理化学研究所の先生方を中心とした、厚生労働省や文部科学省の疲労研究班そして日本疲労学会に加わり、特に脳イメージング研究などの疲労に対する新しい知見に触れ、吸収する日々が、すでに十数年となっています。

現在、この日本疲労学会が発信している一番大きな主題は「疲労は脳の疲労である」です。精神的なストレス、運動にともなう酸化ストレス、他から強いられた結果の睡眠リズム障害(シフト勤務)などが、脳内の中枢自律神経ネットワーク(CAN: Central Autonomic Network)にかかわる脳の部位を損傷し、脳免疫統合系を介し「独特の不快感と休養の願望を伴う身体の活動能力の減退状態(疲労の定義: 日本疲労学会定義委員会 2010)」をもたらし、その影響は自律神経系の活動量低下、交感神経と副交感神経のバランスの崩れなどに顕在化するとも言えるところまで来ています。

重要！**2020年度第1学期単位認定試験の期間が前倒しとなります**

東京オリンピック・パラリンピックの開催により、2020年夏は世界各国から首都圏に人が集まります。すでに交通機関等の混乱も予想されていることから、皆さんに単位認定試験を円滑に受験していただくため、

例年よりも試験日程が前倒しとなります。

下記の通りの日程での実施となりますので、試験に向けた学習や科目登録の際にはご注意ください。

2020年度第1学期単位認定試験**大学院：7月17日(金)～7月18日(土)****学 部：7月17日(金)～7月23日(木)****※7月17日(金)～7月18日(土)は大学院・学部共通****神奈川学習センターの利用にあたって**

多くの学生さんに神奈川学習センターを気持ちよく利用していただくため、以下のことをお守りください。

① 教室での飲食について

飲食を目的とした教室使用はできません。また、ふたのついていない容器に入った飲料は教室内に持ち込まないでください。飲食は談話室をご利用ください。

② 私物は必ず持ち帰ってください

講義室には清掃が入ります。面接授業で翌日も同じ教室を利用する場合でも、私物はお持ち帰り下さい。私物を置いたままにすると、場所が移動したり、紛失のおそれもあります。

③ 駐車場について

神奈川学習センターの駐車場は、障がいや怪我により、自動車使用が不可欠な方のためのものです。ご利用にあたっては、診断書等の資料を持参の上で、事務室に相談してください。

④ サークル等の教室使用について

サークル等の団体が教室を予約する場合、使用する日が含まれる月の2ヶ月前の1日から予約が可能です(例えば、4月30日に予約を入れる場合、2月1日から予約可能です)。

また、AV機器、プロジェクター等を使用する場合は丁寧に取り扱い、むやみに設定を変更しないでください。教室の使用後は原状(使用前)に戻っていること、忘れ物がないことを確認してください。



神奈川県立国際言語文化アカデミアと放送大学の連携講座 「異文化との出会いー日本と東アジアー」

放送大学神奈川学習センターと国際言語文化アカデミアは、学習機会の提供に向け、連携協定を結び協力を進めています。今回は「異文化との出会いー日本と東アジアー」をテーマに無料の講演会を開催します。今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、諸外国の人々と接する機会が増える中、2つの講演を通じて、日本を含む東アジアについて理解を深めます。

事前申込制で受講料は無料です。多くの皆さまのご参加お待ちしております。

- 日時： 2020年 2月16日(日)13:00～15:15
- 会場： 放送大学神奈川学習センター第8講義室
- 定員： 180名(定員に達した時点で締め切ります。)

参加無料
事前申込制

第1部 13:00～14:00

「高杉晋作の見た上海」

講師：新谷 雅樹(神奈川県立国際言語文化アカデミア 教授)

幕末の麒麟児・高杉晋作は、文久二年(1862)、幕府の洋式船・千歳丸(せんざいまる)に乗りこんで上海を目指します。旧幕以来の中華崇拝者であった晋作は、なんとか幕府の随行員になりすまして、あこがれの聖賢の地・中国に行ったのですが、彼が目にした上海の怪現状——西洋人が威張り、中国人が取り入っていることに幻滅します。何よりもアジアの貧困に打ちのめされます。

短期間の上海遊学でしたが、晋作が何を見、何を感じ、何を考えたか。そして、後に与えた影響について、簡単にお話ししたいと思います。

第2部 14:15～15:15

「東アジアのLGBT社会運動と文学-台湾を中心に」

講師：白水 紀子(放送大学神奈川学習センター 客員教授)

2019年に台湾で同性婚がアジアで初めて認められ、世界の注目を集めました。同性婚の法制化は台湾のLGBT運動の大きな成果だと言えますが、これによってセクシュアル・マイノリティの人たちを取り巻く状況がすべてよかったわけではありません。

本講演では、これまでのLGBT社会運動を振り返りながら台湾社会におけるセクシュアル・マイノリティに対する意識の変化を概観し、つぎに台湾のLGBT文学を通してセクシュアル・マイノリティの人たちが抱える問題をより具体的に見ていきます。そして、中国、韓国、日本の事情にも触れて、多様な性を受け入れる社会のありかたをめぐる、東アジアに共通する問題として考えていきたいと思います。

【問合せ・申込み】電話・FAXでお申し込みください

放送大学神奈川学習センター

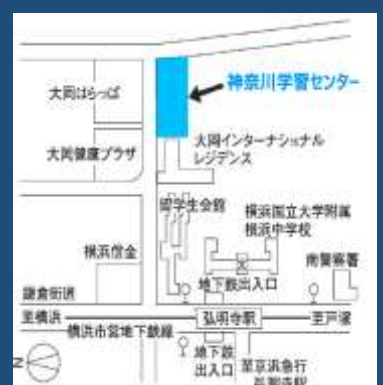
TEL045-710-1910 FAX045-710-1914

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

■市営地下鉄「弘明寺駅」下車徒歩5分

■京浜急行「弘明寺駅」下車徒歩12分

■市営・神奈中・江ノ電バス「弘明寺」停留所下車 徒歩5分



2019年度学生研修旅行

10月10日、「航空機の整備及び江戸東京の歴史と文化について学ぶ。」をテーマに、2019年度の学生研修旅行が行われました。神奈川学習センター所属の学生と、福富所長、白水紀子客員教授の参加。学習センター教職員と、Kーサポートのボランティアによって進行されました。

Kーサポートの遠田さんと垣谷さんに、感想と、企画準備からのお話を執筆頂きました。

○バス研～メンバーからの目線～

バス研修チーム 遠田 雄子

今回、バス研修チームのメンバーに参加させて頂きました。仕事の関係上会議には参加できず、代わりに当日のレジュメ作りをしました。内容は、江戸東京博物館に因んで「まとい」について書きました。

当日は神奈川学習センターに集まり、A班とB班に分かれてバスに乗り、最初に羽田にある「ANA機体工場」に向かいました。バスの中では自己紹介がありました。皆さん年齢も所属コースも違い放送大学らしい学び取る気持ちに満ち溢れてました。

目的地に到着して工場見学の前に説明とクイズがあり、正解した人には記念品のシールを頂けるイベントに参加しました。

その後、ヘルメットを着けて工場に向かうととても美しい機体の飛行機が目の前に現れました。私は飛行機を生で見るのが初めてでしたので、大きさと機体の美しさに感動しました。

帰りにお土産も頂き、いつか個人でゆっくり再見学をしたい気持ちを胸にして次の「江戸東京博物館」に見学に行きました。バスの中では私が作った

レジュメを発表してとても緊張しました。現地に到着して記念写真を撮り、各自で昼食を頂きました。私はバス研のメンバーの方と神奈川学習センターの職員の方とお昼ご飯を頂きました。昼食後の「江戸東京博物館」の見学は各自で周りました。歴史ごとにブースが分かれており、展示物の前に来ると音声で展示物の内容を読み上げるシステムになっておりとても便利でした。私が一番関心があった江戸編でまといを担いだり、千両箱を持ち上げる体験をしました。お金に関わると人は何キロでも持ち上げられることを実感しました(笑)。もう1つの「現代の東京 過去と現在の東京をつなぐ」コーナーは、1960年代から2000年代までの流行りの物を展示しており、自分が学生の時にはいていたルーズソックスが展示物として飾ってあるのは年齢を感じ不思議な気持ちになりました。見学はあっという間に終わり、帰りのバスは皆さん満足と疲れて眠ってしまっている方もいました。バスが横浜に到着して解散しました。バスの中ではメンバーと先生方の発表もあり村田さんの司会でスムーズに進みとても楽しい1日でした。

バス研に参加してくだだった学生さん、先生方、職員の方、バス研のメンバーの方、楽しい1日をありがとうございました。



○バス研修—協力する学生と参加する学生 K—サポート事務局 垣谷 江里子

■神奈川学習センターのバス研修

神奈川学習センターの「研修旅行」の特徴は、計画と運営に学生が加わっていることです。学生側として協力しているのは、K—サポート(神奈川学習センターを支援する学生ボランティアの団体)のバス研修チームのメンバーです。

■バス研修チームの活動

バス研修チームは、教職員の指導のもと、見学地の絞りこみなどへの意見具申、下見への参加、参加学生に配付する研修資料の原稿の作成、当日の受付、徒歩で移動する時の先導などを行っています。今年度もほぼ月1回のペースで準備のための会議と作業をしてきました。

■2019年度は10月10日(木)に実施

福富所長をはじめ教職員5名、学生38名(定員に対し応募者数約2.5倍の抽選を通過)が参加しました。神奈川学習センターを出発後、9時過ぎに羽田空港内のANAの機体工場に到着して案内コースを見学。次いで12時過ぎに江戸東京博物館に到着。昼食後に自由見学を行い、17時半頃に横浜駅に戻りました。

■「バス研修旅行参加報告書」に記載された感想等(編集部により抜粋・補足)

意識的に見学することにより研修が有意義なものとなるよう、参加学生には上記報告書の提出が義務付けられています。

◇ANA機体工場および福富所長の機体材料についてのミニ講座について

・東京国際空港(羽田空港)は滑走路4

コースに45秒に1便の過密ダイヤの中で、安全運航を支える整備士さん900名(約50名の女性)により日夜整備が行われている。

・福富所長の材料の観点からのお話もあり、航空機エンジンの開発の難しさもよく理解できた。

・B787やB737の整備も間近で見られたのが収穫でした。



・エアコンもなく、仕事とはいえ従事している方々へ感謝したいと思った。

・説明したり案内されている担当者の洗練されたしぐさ、話しぶりは心地よかったです。

◇江戸東京博物館および白水客員教授の江戸時代についてのミニ講義について

・江戸の地図を見て、江戸時代は水運が盛んであったことがよくわかった。再開発の際は、もう一度水運利用を取り入れてもよいのではないかと感じた。

・江戸こそが外食が盛んだった。寿司、天ぷらなどを売り歩いていたのは意外だった。

・徳川家康は、玉川上水、神田上水からの水の道を造った。玉川上水へ行ってみたい。

・近現代の展示も多く、今の生活と近いものがあることが分かりました。人力でこれだけ大きな都市をつくりあげていったことを実感しました。

・白水紀子客員教授の通説を覆す新たな「こぼれ話」の紹介は興味深かった。

■最後に、チームメンバー募集!

サポートメンバーに応募いただく条件は、放送大の学生・卒業生であることと、活動への「やる気」です。バス研修チームをはじめK—サポート活動に関心のある方は、まず次の連絡先にお問い合わせください。

K—サポート事務局・・・E-mail:ksupport@ouj.ac.jp



地域連携ウォーキング

「大岡川がみた横浜の移り変わり 弘明寺から河口へ歩こう!!」

川の流れ・歴史の流れ

K-サポート地域連携チーム 田代 和嘉

2019年の地域連携ウォーキングは、「大岡川がみた横浜の移り変わり 弘明寺から河口へ歩こう!!」とし、大岡川沿いに約10Kmのコースとしました。開催日の11月2日(土曜日)は天候に恵まれ、チラシをみてご応募くださった一般の地域の方々・放送大学生・福富所長・河内事務長・スタッフの約50名でウォーキングを楽しみました。

当日は神奈川学習センターに集合し、正面玄関前での挨拶・体操などを行ってから、4グループでのウォーキングの開始です。説明するポイントがたくさんあります。現在の神奈川学習センターの建物のあたりは、横浜国立大学工学部のプールとテニスコートがあったこと。学習センター近くの鎌倉街道沿いにある公衆トイレは、かつて路面電車の弘明寺停留所があった頃から同じ場所にあること。大岡川にかかっている橋もそれぞれ特徴があります。関東大震災で橋も壊滅的な被害を受け、復興されました。その中に「昭和X年X月 復興局建造」などと親柱に銘があるものがあります。親柱のデザインもそれぞれで見ていて楽しいものです。

地域連携チームのメンバー2名が大岡に長く住んでいらっしゃるので、説明するポイントで自身の思い出話なども飛び出しました。

弘明寺、井土ヶ谷事件の碑、吉田新田との関連が深いお三の宮日枝神社などをめぐり、大岡川沿いに歩きます。



昼食前の疲れた身体にはちよつと厳しい野毛山の坂を上り、野毛山公園で昼食です。午前中の説明ポイントが多く昼食時間が想定よりもだいぶ遅れてしまい、参加者の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。野毛山公園の庭園を歩き、成田山横浜別院を経て、桜木町駅の鉄道発祥の地へ。大岡川沿いに戻り、対岸の横浜市役所新庁舎(高さ155.4m)を間近に眺めながら、午後3時過ぎ日本丸そばの河口で解散となりました。

上流の「横浜最古の寺・弘明寺」から「江戸時代の吉田新田」を経て、河口の「さらに発展するみなとみらい地区」までのコースですので、偶然にも川の流れと歴史の流れが同じで面白く感じられます。またウォーキング中は横浜ランドマークタワー(高さ296.3m)がどんどん大きく見えてくるので、河口へ向かって歩いている実感がわきました。

街中にあるちょっとしたもの、普段歩いていてもあまり気付かないものも、歴史を紐解いてみると意外な過去があります。有名な社寺を巡るコースに比べれば確かに地味ではありますが、新たな発見が楽しめるコースでした。

また、次のウォーキングに向けて準備が始まります。どうぞ楽しみに！





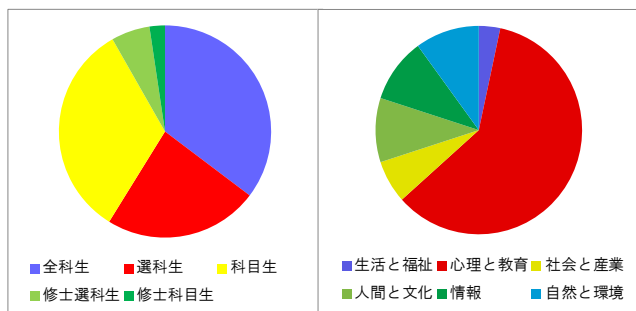
2019年10月 学生生活に関するアンケート Kーサポート機関紙編集チーム

9月21日(土)神奈川学習センターの学位記授与式には68名の卒業生が集いました。学習センターだより編集部では、前年度同様のアンケートを実施し44名からの回答があり回収率は65%でした。

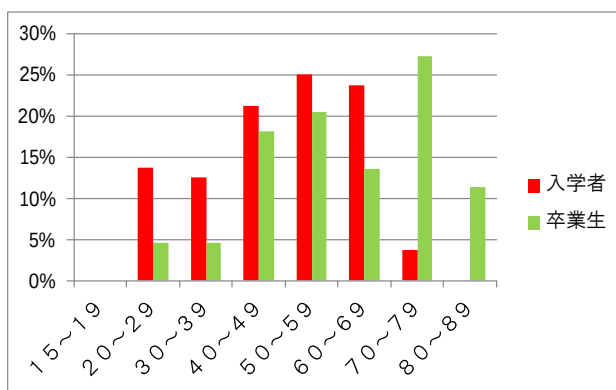
また、10月6日(日)入学者の集いには、学部生、院生あわせて新入生122名が参加、86名から回答を得て回収率は、70%でした。

1. 入学者へのアンケート(一部項目は、卒業生のアンケートと比較しています。)

入学者アンケートは、学生種別です。全科生、選科生、科目生の割合は、38%、26%、36%で、前年比で、全科生が大幅に減り科目生が多くなっています。コースでは、心理と教育が60%を占め、生活と福祉が少なくなっています。

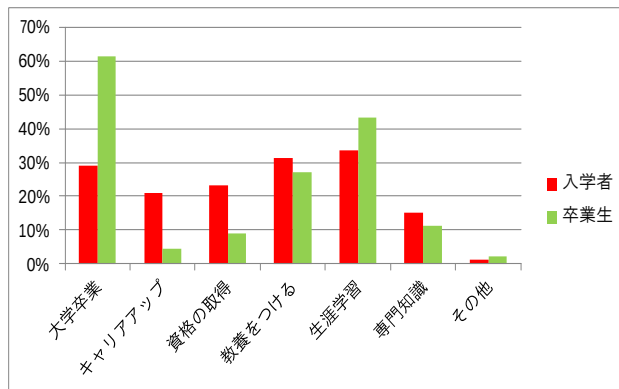


次に、年齢構成です。(下図)入学者では、ほぼ20代から60代となり、年齢構成の幅が小さくなりました。卒業生については、70代と50代がピークでした。

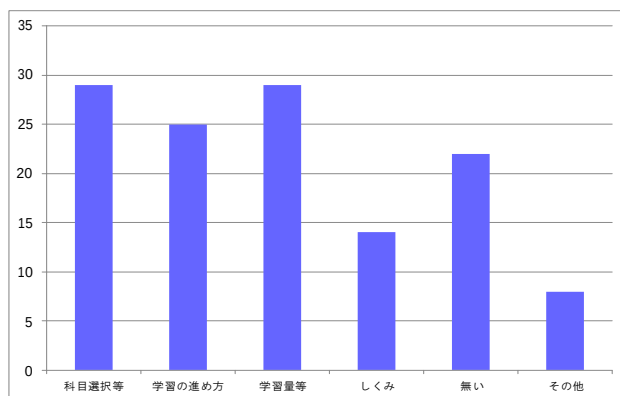


入学動機を見てみましょう。前年に比べ入学者、卒業生とも、卒業をあげる方がやや多くなり、資格やキャリアアップが減少しています。入学者の全科生の比率が減少していることとの整合性が得られない結果なので、学生種別の選択志向が変化していることも考えられます。今年に限ったことなのか、継続

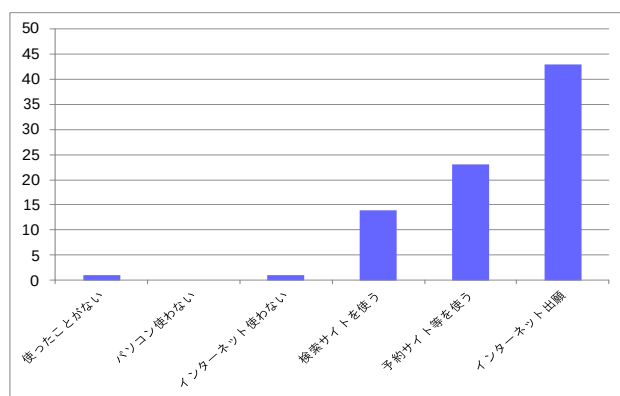
して変化を観察したいと思います。



入学者が、どのようなことに不安を感じているかを聞いた質問です。前年より、科目選択をあげる方の割合が多くなりました。入学時の科目選択や、学生種別等の選択に何かの困難が起こっている可能性も考えられます。インターネット出願が多いので、入学前相談の機会が減っているのかも知れません。



インターネットの利用等に関する項目です。今年は、一段と利用される手いりの方の比率が高まり、インターネット出願をされた方が、初めて50%に達しました。

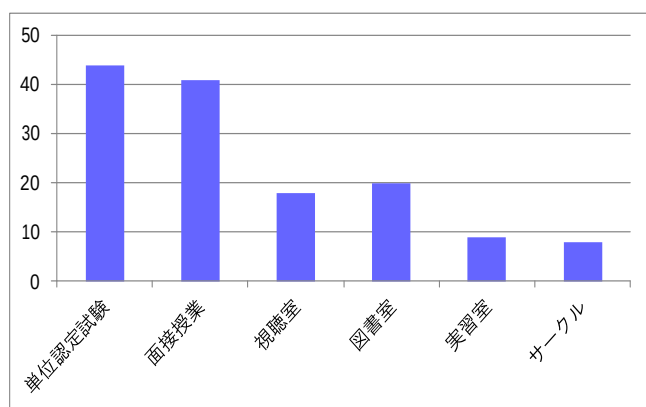


○大学、サークル、その他(自由記入欄)

- ・先生方(所長、客員教授)のお話しがよかった、面接授業に興味があった。(8名)
- ・学歌の合唱が素晴らしかった (5名)
- ・オリエンテーション資料がわかりにくかった。(4名)
- ・すてきな集いだった。(3名)
- ・学びたい気持ちになった。(3名)
- ・電話対応など事務室が親切。(2名)
- ・学習センターに親しみが持てた。(2名)

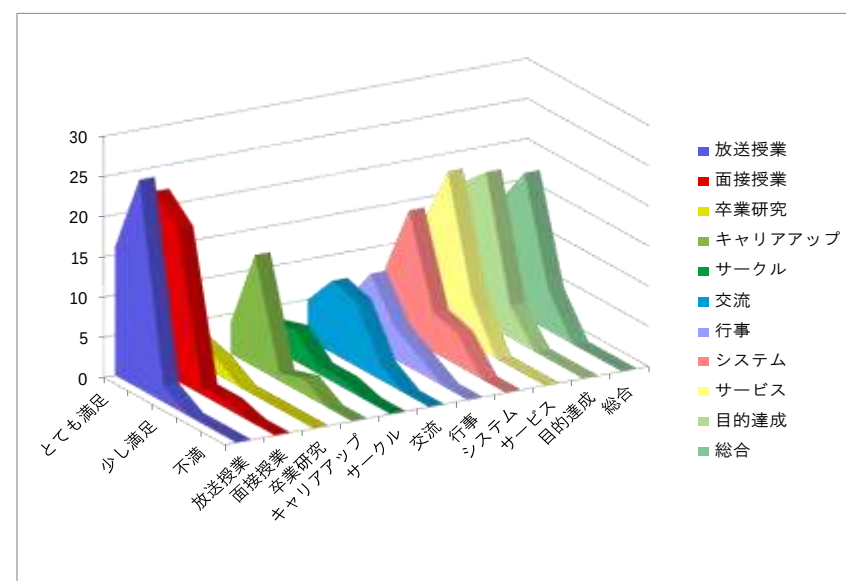
2. 卒業生へのアンケート(卒業生のための質問項目)

学習センターの利用については、去年ほどではありませんが、幅広い形で利用されていることがわかります。



次に、卒業生が放送大学の授業やシステムと、放送大学での交流等についてどのように感じているか、11項目で満足度を伺ってみました。

面接授業、放送授業とも授業に対する満足度がとても高い傾向は、例年通りです。個人個人の評価のばらつきは、少し減り、悪評価をつけた方がほぼありませんでした。また、わずかな人数ですが、卒業研究



の満足度が高かったことも印象的でした。評価にばらつきの大きかったのは、システム、交流、行事、キャリアアップ、サークルでした。

○印象に残った放送授業

様々な授業があげられました。自身のコースの科目を中心にあげていますが、特定の科目に集中することはありませんでした。複数(2名)の方が、あげたのが、問題解決の進め方、認知症と生きる、錯覚の科学、運動と健康、死生学のフィールド。死生学は、死生学入門も1名の方があげています。

他には、文学や芸術、心理、医療福祉、語学系の科目が多くあげられていました。

○印象に残った面接授業

複数あげられたのは、心理学実験1. 2. 3. で、5名。認定心理士をとるには、ほぼ必須科目なので、受講されている方が多い科目です。

他は、みなさん別々の科目をあげられていました。放送授業と違って、自然科学系の実験科目が何科目も含まれていました。

○自由記入欄

- ・妻の介護のため2年間休学し気長にこつこつ9年かけて卒業した。
- ・単位認定試験を受けられないこともあったが充実した学生生活だった。
- ・続けることが励みになると思う。
- ・知るは喜びなりを実感する毎日。
- ・卒業研究が一番の思い出。
- ・資格取得できることが魅力的と思う。
- ・放送大学の学びは、生きがいです。
- ・記述式の試験を増やし、卒業研究を受講しやすくすべきと思う。

- ・じっくり学んで教養を深めて卒業したかったが、途中から単位を取ることが優先になり、深く学べなかった。
- ・神奈川と三重の学習センターの事務の方に親切にしてもらったことが忘れられない。
- ・楽しく学んだ。学んだことを生活に活かしてゆきたい。

※自由記入欄は、入学者については同様の回答が多かったものを纏めました。卒業生については、選択抜粋しています。

※グラフの単位は、記載のあるものを除き、人数になっています。

2019年度 神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

●神奈川学習センター客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
上川孝夫	上川ゼミ	金融や国際金融を中心に、経済学を学ぶゼミです。一見難しそうな学問ですが、基礎を重視しながら、幅広いテーマを取り上げます。また、日本銀行や東京証券取引所の見学なども予定しています。	原則 第3土曜日	4/20、5/18、6/15、 7/20、8/17、9/21、 11/16、12/8、12/21、 1/18、2/15、3/21、 (次年度) 4/18	kamikawa @ynu.ac.jp	所 外 有
高橋邦年	英語基礎ゼミナール	毎回3時間(休憩10分)の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行う。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	基本的に 毎月 第2土曜日 または 第3土曜日	4/13、11/16、12/21、 2/8、3/21	takahak18 @gmail.com	
白井宏明	経営学の基礎を学ぶ	毎月一回のゼミで、参考文献を輪読する。担当に指名された者が、その回の担当部分の要約を発表し、その後、全員でディスカッションする。	原則 毎月 第2金曜日	9/13、10/11、11/8、 1/10、2/14、3/13	shirai @shirai.org	9 月 開 設
茂木一衛	茂木ゼミ	主にヨーロッパの芸術音楽について、歌唱、演奏、鑑賞の活動を通して学習・理解し親しみます。	毎月 木曜日1回 日曜日1回 (予定)	4/11、4/28、5/23、 5/26、6/2、6/27、 7/11、7/14、8/4、 8/29、9/19、9/29、 10/10、10/20、11/7、 11/17、12/8、12/19、 1/5、1/9、2/2、 2/20、3/12、3/15	kmoteki @nifty.com	

●元客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
浅野幸弘	浅野ゼミ	経済・金融・証券投資の本をテキストに、ゼミ生が順に内容を纏めて報告、その後全員でディスカッションする。2019年度はテキストとしてフェリックス・マーティン「21世紀の貨幣論」を使用する。	原則 第2木曜日	4/11、5/9、6/13、 7/11、8/1、9/12、 10/10、11/14、 12/12、1/9、2/13、 3/12、(次年度) 4/9	asano- yukihiro-rc @ynu.ac.jp	
影井清一郎	科学の散歩道研究会	①身近な物理・生命・社会等の現象を数学・物理学・工学など自然科学の切り口で、自由闊達に議論・討論する。これらの過程で有用な事項は各自の探求テーマ発掘に活用すると共に、学力向上、論文作成等に反映させる。 ②放送大学の授業内容(科学分野)の理解を深めるため、意見交換を行う。	原則月1回 第3土曜日	4/6、4/20、5/18、 6/1、6/15、7/6、8/3、 8/17、9/7、9/21、 10/12、11/16、12/7、 2/8、2/22	kagei @ynu.ac.jp	
杉田正樹	哲学カフェ	「哲学カフェ」をやっています。参加者からその都度問題を出してもらい、それらについてみんなで議論するというものです。調べれば分かるような問題や、専門的な問題ではなく、身近なところで日頃不思議だと思っていることを論じます。人の話をよく聴くこと、よく考えることが条件です。黙っていることももちろんOKです。	原則 第4土曜日	4/28、5/23、6/28、 8/29、9/29、10/27、 11/24、12/22、2/22、 3/14	msugita @kanto- gakuin.ac.jp	

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
角 洋一	角ゼミ	角ゼミでは、2016年度から明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を中心に輪読を実施しているが、2019年度は物理学、特に力学と自然災害、科学と芸術、大学と教育などに関する随筆の時代背景と社会状況を考察しつつその文章化を行う。	原則月1回 第2木曜日	4/11、5/9、6/20、 7/11、8/8、9/19、 10/24、11/21、 12/19、1/9、 2/20、3/19	sumi@ynu.ac.jp	所外有
種田 保穂	種田ゼミ	生物学に関する話題提供、動物園、博物館等の見学、自然観察会の実施。	月1回程度	4/22、6/18、10/24	taneda-yasuho-pj@ynu.ac.jp	
藤原 一繪	植生 研究会	①毎月1回定期的に研究会を開催し学期ごとにまとめの発表会を行う。 ②研究会はフィールドで各自のテーマに基づき観察調査し、自然から学び、新しい発見を探究する。その結果をまとめ、発表する技術を体得する。 ③生物多様性の視点からあらためて植生を観察する。	原則毎月 第2木曜日	4/11、5/23、 6/20、7/2、9/12、 10/17、11/14、 12/12、1/9、 2/13、3/12	syokusei@yakatsu.org	所外有

Kーサポートからのお知らせ

○パソコンサポートチーム

パソコン操作の初心者、具体的にはパソコン経験のない方または放送大学ホームページが利用できない方に対し学生サポーターが「パソコン初心者塾」で支援します。パソコンのない方も神奈川学習センター実習室のパソコンを借用できます。

支援内容は、放送授業の視聴、通信指導の提出、科目登録の提出、過去試験問題の閲覧、図書館活用などです。今後のスケジュールは、次の通りです。

2月22日(土) 来期の科目登録の提出、その他

※参加・サポートを受けるには、申し込みが必要です。学習センター1階玄関ロビーつきあたりKーサポート掲示板下に、用紙とポストがありますので、ご利用ください。

○学習相談チーム

令和元年度2学期の学習相談は、終了しました。令和2年度1学期は、4月中旬より神奈川学習センター談話室にて行う予定、予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)
垣谷(Kーサポート事務局)
早田(学習センター事務室)

編集後記

10年以上続けているアンケート(10ページ)今回の特徴はなんと言ってもインターネットの利用率の高まりだった。そんな中で、冊子体のセンターだよりは、少数派の貴重な情報手段になってきていると思う。

この3月の学位記授与式、NHKホール改修のため、NHKホールで行われる最後の卒業式？(また戻ってくる可能性はあるが)かも知れない。何年か後、卒業式までネットで行われるようになったとしたら・・・さみしいなと想像した。



学生サークルからのお知らせ

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し150余名の会員がいるサークルです。

☆触れ合いの場の活動

○ 放友会例会2月9日(日)神奈川学習センター 第3講義室

○ お花見・卒業修了祝賀会 3月29日(日)桜木町から中華街付近

☆毎月の活動

○ 俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会、音楽部

詳しくは <http://kanagawa-hoyukai.jp>

問合せ:吉岡 淳 info@kanagawa-hoyukai.jp

○韓国語同好会

★後期 月例会予定日 土曜日

1/11 2/1, 22 3/7, 28

① 10:00～11:30 中級クラス

② 11:30～12:00 ミーティング(全員)

③ 12:00～13:30 初級クラス

④ 13:45～14:45 自主学習

短編小説 ソナギ(にわか雨)

★講師 李明淑(イ・ミョンスク)先生

★初めての方へのサポートを強化しました。

★入会随時、見学大歓迎です。

★会費 1ヶ月2,000円 3か月前納

★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/>

tsuyukimt@gmail.com(代表:露木)

○放大かながわレク・サークル

★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」。

★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○人間学研究会

★毎月の例会で卒業研究、旅行経験等のテーマを発表

＊例会予定

・2月8日(土)13:00～ 学習センター第3講義室

・テーマ:「評伝 正岡律 その2」

＊茶話会:随時、会員をグループ分けし、各テーマで自由討議を行います。美味しいお菓子も出ます。

★会誌「せせらぎ」30号を発行

★ウォーキング・植物園美術館巡り等行事、懇親会 会員募集中

お問い合わせ :

大和田克美 oowada-katsumi@u01.gate01.com

佐藤 義春 yoshi.l.chie@yd6.so-net.ne.jp

○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

★例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等の変更があります。)

＊Benny Class(3クラス) 10:15～12:30

＊English songs 13:15～13:30

＊Group study 13:30～15:30

★そのほか、うえるかむ名画座、ゲスト講演会などを開催しています。

★問い合わせ 片野真明 090-4714-8260

○ダンスサークル(社交ダンス)

★場所:神奈川学習センター第7講義室

★曜日:第2・第4火曜日 ＊第1・第3火曜日 自主練習

★時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

★会費:1か月 1500円

★活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

★連絡先:中村 健 tarumakan0904n@gmail.com

○スペイン語研究会

★目的:スペイン語日常会話習得とスペイン語圏の歴史・文化を学ぶ会。★活動:月2回(第1・第3木曜日)。第1木曜日:日本人講師による初級。第3木曜日:外国人講師募集中。★会費:月1,000円。★内容:1時限・講師による日常会話習得。2時限・会員又はゲストスピーカーによる研究発表・講演。テーマはスペイン語圏の歴史、文化(映画他)など。★その他:講師・発表者との親睦会。★連絡先:会長・講師 肥後 照雄 電話:080-2049-3523 メールアドレス: t_higo@cb3.so-net.ne.jp

○中国語学習会

街の中で、中国語が聞こえること、多いですね。『大きな声だなあ』と思っただけでスルーしていませんか。『何か困っているの、どこかに行きたいの?』と思っただあなた、日本らしい“おもてなし”を、月2回の中国語学習ではじめませんか。

学習会は原則第1・第3日曜日。午前10時から「自由会話と講読(中級クラス)」、午後1時から「発音の基礎と、すぐに役立つひと言(初級クラス)」。どちらにも参加できます。

詳しい日時・場所は、1階の学生掲示板のポスター、またはホワイトボードに掲載します。

★お問い合わせ先:

和田充弘 e-mail: snuf.708w@ezweb.ne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。各種資格の取得と放送大学卒業を同時に目的とする方が多い。目標の資格としては、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会内容は、情報交換が中心です。

例会は、ひと月に1回、土曜または日曜に開催。原稿締切時点で、1月以降の例会日程は未定です。

★会費: ¥500(1年間)

★ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

○神奈川合唱団

★合唱を愛好する皆さんと一緒に学びつつ合唱で学生生活を楽しむサークルです。現在30有余名の会員がおります。

★学位記授与式(NHKホール)では、全国の合唱愛好の皆さんと「学歌」、ベートーヴェンの「第九」第4楽章を歌い卒業生、修了生のお祝いをしました。

現在は、「学歌」「川の流れのように」「一本の鉛筆」などを合唱曲として練習しています。

★合唱指導は、バリトン歌手でオペラに出演している清水一成先生をお招きし、新井ゆう子先生のピアノ伴奏で練習しています。

☆場所:大岡地区センター 音楽室(2階)

☆日時:毎月 第1・第3水曜日 18:00~20:30

☆連絡先、馬場信一 s-baba820@leaf.ocn.ne.jp

神奈川同窓会だより

神奈川同窓会は、放送大学に学んだ「誇り」を共有し「母校意識」をもって大学のために、また、「プランインターナショナルジャパン」や「あしなが育英会」を通じて寄付金を集めるなど、社会貢献活動を進めています。毎月行う「弘明寺サロン」や「卒業・修了祝賀茶話会」等を開催しています。

これからの主な行事予定は次の通りです

2月 8日(土) 映画上映会「七人の侍」

2月29日(土) 弘明寺サロン(横須賀散策)

3月14日(土) 卒業生の集い(神奈川SC)

3月21日(土) 学位記授与式(NHKホール)

卒業・修了祝賀パーティ

(ハイアット リージェンシー 東京)

5月15日(金) 神奈川同窓会創立30周年記念行事

最新情報は、インターネットでご覧いただけます。神奈川同窓会ホームページ「波濤ネット」

urlは、<http://hato.net/>

「放送大学神奈川同窓会」で検索してください。

神奈川学習センターからのお知らせ

● 2020年4月入学生ただいま出願受付中！

2020年4月入学生を募集しております。お友だちや知り合いの方も神奈川学習センターと一緒に学びませんか？

【対象学生】教養学部(全科・選科・科目) 大学院(修士選科・修士科目)

【出願期間】(第1回) 11月26日(火)～2月29日(土)迄

(第2回) 3月 1日(日)～3月17日(火)迄

【資料請求】募集要項を無料配布中です。お気軽に神奈川学習センターまでご連絡ください。

● 学部・大学院の単位認定試験の問題、結果及び解答

【問題】 2020年2月上旬頃にシステムWAKABAの学内リンクから閲覧可能になります。

【結果】 2020年2月下旬頃到着する成績通知書により通知します。

【解答】 2020年2月下旬頃主任講師の了承があった科目は解答を、ない場合は解答のポイント等を、問題と同様にシステムWAKABAにて掲載。

● 卒業生の集い・学位記授与式のお知らせ

「卒業生の集い」および「学位記授与式」が下記の通り開催されます。

【卒業生の集い】 3月14日(土) 開催場所: 神奈川学習センター

【学位記授与式】 3月21日(土) 開催場所: NHKホール



● 公開講演会を開催します

神奈川学習センターでは下記の通り公開講演会を開催します。講演会への参加をご希望の方は、神奈川学習センターまでお電話でお申し込みください。

日付	時間	教員	テーマ
2月 9日(日)	13:00-14:45	福田幸男先生	記憶の謎を探る ―記憶の心理学入門―
2月15日(土)	13:00-14:45	橋本和幸先生	臨床心理学の2つのアプローチ: 言語的方法と非言語的方法

● 2020年度第1学期科目登録のお知らせ

2020年度1学期に履修する授業科目は、2019年度2学期中に科目登録する必要があります。
「科目登録申請票」の郵送、またはWeb上(システムWAKABA)での入力により、申請期限内に登録をお願いします。

《科目登録申請要項送付時期》 2020年1月中旬

《郵送提出》 2020年2月13日(木) ～ 2月28日(金) **放送大学本部必着**

《Web提出》 2020年2月13日(木) ～ 2月29日(土)

※学生生活の葉61ページに記載されている締切日は誤っているので、上記の日程および、1月に送付される「科目登録申請要項」をご確認ください。

科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等の資料が到着しない場合や、紛失した場合は、神奈川学習センターではなく**放送大学本部**(043-276-5111)まで連絡してください。

お問い合わせ: 放送大学神奈川学習センター

電話045(710)1910 (月曜日・祝日等を除く、9時10分～17時40分)